

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念の共有			
<p>○地域密着型サービスとしての理念</p> <p>1 地域の中でその人らしく暮らしていくことを支えていくサービスとして、事業所独自の理念を作り上げている。</p>	<p>開設時よりホーム理念を作り理念実現に向け日々取り組んでいる。</p>	○	<p>『地域密着』という言葉キーワードにその意味を理解し共通の意識で取り組めるよう現在スタッフ全員で新しい理念を検討中です。</p>
<p>○理念の共有と日々の取組み</p> <p>2 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。</p>	<p>毎日、朝礼で理念を唱和し、日々の関わりに反映できるよう心掛けています。</p>		
<p>○家族や地域への理念の浸透</p> <p>3 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる。</p>	<p>来訪された方の目に留まるようにリビングに掲示し、ご家族様、地域の方に理解して頂けるよう取り組んでいます。</p>		
2. 地域との支えあい			
<p>○隣近所とのつきあい</p> <p>4 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りもらえるような日常的なつきあいができるように努めている。</p>	<p>勤務以外でも近所の方と出会った時は積極的に挨拶をおこなっております。近所の方から園芸の方法など教えて頂くこともあります。</p>		
<p>○地域とのつきあい</p> <p>5 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。</p>	<p>町内会に参加しており、町内の行事に参加したり、利用者様と共に回覧板を届けるなど地域の暮らしを大事にしております。散歩などで出会うと挨拶したり立ち話ができます。</p>		
<p>○事業者の力を活かした地域貢献</p> <p>6 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。</p>	<p>定期的な会議の中で、地域参加等について話し合う機会をもっております。</p>	○	<p>まだまだ地域の高齢者の暮らしに役立つ具体的な活動には至っていないのが現状と思われます。今後の課題とし、取り組んでいきたいと思っております。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
<p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>7 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。</p>	<p>自己評価を行うことで現状の気づきとなると考え、今後の更なる改善に向け積極的に取り組んでいます。</p>		
<p>○運営推進介護を活かした取り組み</p> <p>8 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。</p>	<p>運営推進会議は開催していますが、地域包括は入っておりません。昨年2回、今年は1月に開催しております。今後の開催については現在日程調整中です。</p>	○	<p>今後は地域包括も交えて更に充実した運営推進会議としていきたいです。</p>
<p>○市町村との連携</p> <p>9 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。</p>	<p>札幌市・北海道で行なわれている研修・セミナーなどに積極的に参加し、質の向上に取り組むとともに、市の担当者とのコミュニケーション作りに努めております。</p>		
<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>10 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している。</p>	<p>現在成年後見制度を利用されている利用者様があり、積極的に学びの機会を持っております。また、当施設が主催とした社内研修において地域包括支援センターより講師を招き、地域権利擁護事業、成年後見制度について学び、理解と活用に努めております。</p>		
<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>11 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見逃されることがない注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>道内、市内で行なわれている研修会へ参加し虐待防止について学び、意識の統一を図っております。また、社内でも委員会を発足し、虐待の防止を徹底しております。</p>		
4. 理念を実践するための体制			
<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>12 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>利用者様、ご家族様に対しわかりやすい説明を心がけ、質問されたことには十分な説明をした上で納得し契約して頂ける様に配慮しております。契約書類は二部作成し、ご家族様と当施設双方の管理のもと契約関係を結んでおります。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
<p>○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>13 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>常に利用者様の声に耳を傾け、またご家族様とのコミュニケーションを図り、会話の中から利用者様の声を伺える様努め、運営に反映させる努力を行なっております。</p>		
<p>○家族等への報告</p> <p>14 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている。</p>	<p>ご家族の来訪時には口頭で日々の生活状況を伝える様に心掛けております。また、毎月発行している『みのり通信』にて日常の様子を報告しております。請求書発送時に『みのり通信』と金銭管理報告書を同封し確認していただいております。</p>		
<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>15 家族等が意見、不満、苦情等を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>職員が直接話し合うことで意思、意見、不満、苦情が気がねなく話せる環境を作り、意見があった場合には早急に対応するようにしております。また、玄関入り口に『ご意見箱』を設置し会社としてもご家族のご意見を体制を整えております。</p>		
<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>16 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>毎日のミーティング、ユニット会議、全体会議を通じて常に話し合い、意見を取り入れより良い運営を目指しております。</p>		
<p>○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>17 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保する為の話し合いや勤務の調整に努めている。</p>	<p>行事、受診、入退院時必要な人員があれば、別ユニットとの協力を交えながら状況に応じた体制作りに努めております。</p>		
<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>18 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。</p>	<p>職員同士の会話には細心の注意を払い利用者様に出来るだけ影響を起こさないように配慮しております。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19 ○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	定期的に内部(社内・事業所)研修を行い育成に努めると共に、外部研修にも積極的に参加の機会を設けております。研修終了後は報告書を作成し、他のスタッフとも情報を共有できるよう努めております。		
20 ○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。	地域のグループホームとの連携を強めると共に、系列のグループホームとの交流を図るため、定期的に『学びの会』を開催し交流・質の向上に努めております。		
21 ○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる。	定期的にスタッフミーティングを行い話し合いをする場を設け意見交換を行っております。また、年に一度会社全体での忘年会を行い社員同士の交流、慰労を図っております。		
22 ○向上心をもって働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心をもって働けるように努めている。	各スタッフが平等にそれぞれの業務が行なえる環境を作り、一人ひとり責任を自覚し勤務をしている。また、運営者は年2回のボーナス支給や永年勤続に対する報奨金授与など個々の努力・実績に対し評価し、各自の向上心へと繋がっております。		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23 ○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。	利用者様が納得いただけるよう事前訪問、見学、面談を密に行い、ご本人様が希望されていることを理解しゆっくり、じっくりと受け止め努力をしています。		
24 ○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。	ご家族様来訪時にはゆっくりと時間をかけコミュニケーションをとり、より良い信頼関係を築く努力をしています。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
25 ○初期対応の見極めと支援 相談を受けたときに、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	ご本人様、ご家族様が話しやすい環境をつくり、要望を理解しゆっくりと受け止められるように努めている。また、必要に応じ、福祉用具、リハビリなど専門家に相談し、適切な支援ができるように努めています。		
26 ○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。	サービスの利用開始には約一ヶ月の時間をかけ、ご家族様の協力を得ながら入所・入院先の情報収集を行なっている。ご本人様やご家族にホームの見学に来ていただいたり、管理者が自宅や入所先を訪問し、お話や散歩をしながら利用に向けて関係作りに取り組んでおります。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27 ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。	職員は一人ひとりの利用者様の想いや希望の実現に向けできる限りのサポートを心掛けております。また、年長者である利用者様より、料理の作り方、植物の手入れの仕方、日常の立ち振る舞いなど教わる事が多く、共に過ごし、学び、支えあう関係が構築されております。		
28 ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている。	室内行事や外出行事などにお誘いしご家族様との関係を密に出来るように努めております。また、病院受診時の同行や通院の連絡を行いご家族様と共に利用者様を支えていくことが出来るように努めております。		
29 ○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、よりよい関係が築いていけるように支援している。	ご家族様が来訪時には居室で寛げるように努めております。また、室内行事外出行事などにお誘いし、ご家族様と利用者様が共に楽しい時間を過ごせるように配慮しております。入居者様とご家族様の外出の際にも緊急時には向かえる体制作りを整備しております。		
30 ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	ご家族様との協力により以前住まれていた住居や自宅への訪問をされ、なじみの関係が継続されるように努めております。また、ご家族様の来訪も多く他の利用者様との交流もみられております。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている。	食卓の席や空間の使い方など一人ひとりの利用者様の感情に配慮し、必要に応じた見守りを行い、利用者様同士がお互いに支えあえる関係作りに努めております。		
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている。	契約終了後(死去・退居)された後も、出会いを大切にし、年賀状などのやり取りを継続しております。また、法要の際には供花を送るなどご家族様に寄り添えるよう努めております。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	一人ひとりとの関わりの時間を大切にし、ご本人様の想いを受け止めることが出来るよう努めております。また、ご家族様の意見を取り入れ、よりよい生活が送れるよう考慮しております。		
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	ご家族様協力のもと、センター方式を活用しこれまでの暮らしを把握できるように努めております。		
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている。	申し送りで情報の共有を図り、利用者様一人ひとりの状況を職員それぞれが把握できるように努めていると共に、互いにコミュニケーションを取りながら一人ひとりの利用者様に合わせた対応に心掛けております。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。	ご家族様の思いや意見を参考にすると共に介護支援専門員、医療関係者、職員間の連携を図り介護計画の作成を行なっております。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
37 ○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。	介護計画は六ヶ月の見直し期間を設定しているが毎日行なわれる申し送り、ショートミーティングにより利用者の状態変化に即した見直しを介護支援専門員、ご家族様と話し合い介護計画の作成を行なっております。		
38 ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	利用者一人ひとりに合わせて個別の介護計画を記載すると共に特変時には別紙記載し情報を密にすると共に情報を共有できるよう職員全体で取り組んでおります。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39 ○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている。	医療連携が整っており利用者様の負担になる入院治療をできるだけ避け、訪問診療や訪問介護を活用し、ホーム内での治療を可能にしております。また、専門外来受診には法人所有の車椅子対応車等で送迎を支援しております。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40 ○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している。	ご家族様了承の元、地域交番に入居者様の一部情報を提供し緊急時に備えております。近所の幼稚園の発表会や町内会主催の寄席などに参加し地域との交流を図っております。	○	ボランティアの取り入れは不十分であり、今後ご本人様が趣味を生かせる場をつくることのできるよう活用を検討しております。
41 ○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用する為の支援をしている。	行なえておりません。	○	現在はご家族様、ご本人様のご意向がなく利用して」おりませんが今後他事業者、ケアマネジャーとの連携を図り地域との関わりを深めながら活動の場を増やすことが出来るよう努めたい。
42 ○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している。	運営推進会議に向け、関わりを増やしておりますがまだ協働が足りないと思われま	○	今後地域包括支援センターとの連携を強め改善を図りたいと思います。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
<p>43 ○かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>ご家族様、利用者様に合わせた医療機関と連携を図り、適切に往診を行なっております。他科受診の際には診療情報提供書を依頼しスムーズな受診を支援しております。</p>		
<p>44 ○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している。</p>	<p>協力機関として認知症に詳しい医師との連携を築きいつでも相談ができる体制作りにも努めております。</p>		
<p>45 ○看護職との協働</p> <p>事業所として看護職員を確保している又は、利用者をよく知る看護職あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。</p>	<p>往診していただく医療機関の看護師、医療連携を図っている訪問看護師と協力し日常の健康管理、医療活用の支援をしています。</p>		
<p>46 ○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している。</p>	<p>利用者様が入院された場合、職員が面会に行き状況確認を行なうと共にご家族様と共にカンファレンスに同席させていただき、今後の対応についてご家族様、医療機関との連携を図り、早期退院に向け支援しております。</p>		
<p>47 ○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している。</p>	<p>看取り、重度化に対しての指針を儲けご家族様、職員共に方針を共有できるように努めております。</p>		
<p>48 ○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている。</p>	<p>内部研修(社内研修)を行い全職員が救急対応、緊急時対応ができるよう日頃より取り組んでおります。かかりつけ医、訪問看護師とは24時間連携がとれており、緊急時対応の指示がすぐにいただける体制を整えております。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
<p>○住替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>49 本人が自宅やグループホームから別の居宅へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住替えによるダメージを防ぐことに努めている。</p>	<p>ご家族様と職員が話し合いの場をもち、その方の立場、気持ちを酌みダメージを受けないように努めております。また、移り住む先の場面にアセスメントシート(センター方式)、介護計画書の写しを提供しご本人様の負担軽減に努めております。</p>		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
<p>○プライバシーの確保の徹底</p> <p>50 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取扱いをしていない。</p>	<p>利用者様の躰きについて話し合う時などご本人様を尊重し、居室番号等ご本人様と気付かれないよう配慮し記録の管理についても人目の付かないところに置くなど個人情報の取り扱いには留意しております。</p>		
<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>51 本人が思いや記号を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている。</p>	<p>一人ひとりに合わせた話し方をし、利用者様が選択しやすい声掛けの仕方を工夫し、傾聴することにより利用者様の想いを尊重することができるよう心掛けております。</p>		
<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>52 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。</p>	<p>職員の業務を優先させないように心掛けてはいるが、不十分なところもあると思われる。</p>	○	<p>日々、自分自身を振り返り、利用者様一人ひとりに合わせた支援を行なえるよう、今後環境を整えることができるよう努めていきたい。</p>
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>53 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている。</p>	<p>訪問理美容を活用し、利用者様の希望を伺い行なっている。ご家族様と連携を図り、洋服を選んでいただいたり、必要に応じ、職員が買い物を行ない、いつまでもおしゃれをする気持ちを大切にいただけるよう支援に努めております。</p>		
<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>54 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員がその人に合わせて、一緒に準備や食事、片付けをしている。</p>	<p>利用者様の好みや食事形態を考慮しながら職員が献立を考え併設施設の管理栄養士に確認調整していただいている。りよう者様の力を発揮できる場の一つとして一人ひとりの得意とする場を作り一緒に盛り付け、配膳等を行なっております。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
55 ○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、タバコ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している。	年間の一大行事となるお正月、お花見、誕生日などの時にはおひとりおひとりのお好みのものを聞き取り入れ喜んでいただけるよう努めております。また、状況に応じ、出前や個別の外食なども取り入れ生活を楽しんでいただけるよう支援しております。		
56 ○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している。	一人ひとりの排泄パターンを把握しできるだけおむつの使用を減らし、なおかつ安心して排泄ができるような環境づくりに努めております。		
57 ○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している。	安心して安全な入浴ができるよう必要に応じた支援を行なうことを前提に時間や順番など利用者様が気持ちよく入浴を楽しめる環境づくりを心掛けております。		
58 ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している。	一人ひとりの生活時間・習慣に合わせて必要に応じた支援を心がけ、入眠前の時間をゆっくり過ごしていただけるよう飲み物の提供などを心掛けております。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59 ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。	お花見、バーベキュー、紅葉狩り、外出、外食などを取り入れ、また、お散歩など気分転換ができるよう支援しております。また、庭に菜園をつくり収穫を楽しんでいただくなど生活歴を生かすことができるよう環境づくりに努めております。		
60 ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	利用者様の要望、希望を取り入れ一緒に買い物に行ったりお金の使える場を提供できるように支援しております。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
61 ○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している。	利用者様の希望のある時は一緒に近所の公園等に散歩に出掛けたり、天気の良い日にはその他の所に散歩、ドライブ、買い物など外に出る楽しみをつくり外部でも活躍できるように支援しております。		
62 ○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している。	一人ひとりの要望、希望、気持ちを汲み取り一緒にいくことで活発になれる場所、ご家族様との絆を深められる様な外出の機会作りを心掛けております。		
63 ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している。	自由に電話を使用したり手紙を書ける用意をしており、一緒に取り組み支援に努めております。		
64 ○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している。	いつでも身近な方が遊びに来られるような開放的な雰囲気、丁寧な対応を心掛けております。お茶などを一緒にお出しし、居心地の良い環境を作るよう努力しております。		
(4) 安心と安全を支える支援			
65 ○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	社内に身体拘束廃止委員会を設け他事業所職員と共に身体拘束廃止に取り組むと共に、全職員が理解し学び、言葉の抑制にも注意を測るよう心掛けております。		
66 ○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。	夜間以外は全く鍵はかけておらず利用者様、ご家族さまが自由に出入りできるよう安全に配慮しております。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
67 ○利用者の安全確認 職員は、プライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している。	常に安心、安全に過ごしていただけるよう配慮し利用者様を尊重しながら所在の確認、見守り、安静確認に努めております。		
68 ○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている。	針、はさみ、包丁など危険物は職員が管理を行なっているも、利用者様の要望がある時は使用できるようにし、危険のないよう注意、見守りを行なっております。		
69 ○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐ為の知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる。	事故報告書、ひやりはつとの記載は早急に取り組んでいる。社内に事故防止委員会を設け、全体で事故防止、再発防止に取り組んでいる。併設の有料老人ホームと連携し定期的に避難訓練を実施しております。		
70 ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている。	救急対応をマニュアル化し、常時焦らずスムーズに対応ができるよう会社全体で定期的に訓練を行っております。		
71 ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている。	定期的に避難訓練、消防署で開催される勉強会、訓練などに参会地域の方にも理解していただいている。		
72 ○リスク対応に関する家族との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている。	ご家族様の来訪時、行事、家族会等にリスクについての話をし、一人ひとりの暮らしを守る対策を話し合っております。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
73 ○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている。	日常の状態を把握し異変を感じた場合は早急にバイタルチェックを行い、対応しながら医療機関と連携し、情報を密に取り合い、迅速な対応に努めております。		
74 ○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	常時、使用している薬品の作用、副作用については把握し、症状に異変が見られた時は早急に医師と連携を図り、体調の安全管理に努めております。		
75 ○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけに取り組んでいる。	毎日の排便、水分量を把握し、食物繊維食品、乳製品の摂取を心がけ、散歩や運動など身体を動かしていただき、できるだけ薬に頼らない工夫に努めております。		
76 ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れやにおいが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている。	毎食後、口腔ケアを行なっていただき、定期的に歯科医師の往診、歯科衛生士の指導のもと口腔ケアに努めております。		
77 ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	一人ひとりの水分量、食事量を把握しており、不足時には記録し、申し送りにて情報を共有し一日を通してバランスのよい食事・水分摂取ができるよう支援しております。		
78 ○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウィルス等)	社内に感染症予防対策委員会を設け他業種も交え感染症予防に会社全体で感染症に対するマニュアルを用意し、学びの場を設けると共に、消毒の徹底を心がけ感染症予防に努めております。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
79 ○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている。	賞味期限を守り、買いためを行わず新鮮な食品を常に提供できるように管理しております。調理器具の消毒は毎日行なっております。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1) 居心地のよい環境づくり			
80 ○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている。	冬季は雪かき、夏季は除草、ゴミ拾いを常に行い畑やプランター等で花を育成し、池を設けるなど美化と利用者様の憩いを求めて努力しております。		
81 ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	季節ごとの花や観葉植物、落ち着いた音楽、室内照明などを考慮し居心地の良い環境づくりに努めております。		
82 ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、一人になれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	リビングや廊下にソファを設置し他者の気配を感じながらも一人で過ごせる場所、空間の設定、一人ひとりのなじみの関係に配慮した居場所づくりを心掛けております。		
83 ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使いためられたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	使い慣れたものをそのまま持ってきていただき、利用者様の大切にされているもの(仏壇や畳、タンスなど)を設置したりご家族様より提供された写真を貼るなど安心して暮らせる空間作りにも努めております。		
84 ○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないように配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている。	毎日、居室共有スペースの掃除・換気を徹底し年間を通し温度調整し、体調管理に留意しております。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
<p>85</p> <p>○身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>廊下、トイレ、階段、浴室には手すりが設置されて自立した生活が送れるように工夫し、配慮しています。</p>		
<p>86</p> <p>○わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している。</p>	<p>迷ったり、混乱をしたりしないように利用者様のお部屋入り口前には馴染みのものを飾ったり、その方その方の選ばれた暖簾などで工夫をしております。</p>		
<p>87</p> <p>○建物の外回りや空間の活用</p> <p>建物の外回りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている。</p>	<p>畑や花、プランター植物の成長を楽しみ、水撒き、土いじりを楽しんでいただいております。前庭には広い芝生とベンチ、テーブルを設置しそこで、お昼ご飯やおやつなどを食べていただくなど様々な活用を試みております。</p>		

V. サービスの成果に関する項目	
項目	取り組みの成果
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる ①ほぼ全ての利用者
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある ①毎日ある
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている ①ほぼ全ての利用者
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿が見られている ①ほぼ全ての利用者
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている ①ほぼ全ての利用者
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている ①ほぼ全ての利用者
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている ①ほぼ全ての利用者
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています ②家族の2/3くらい

V. サービスの成果に関する項目	
項目	取り組みの成果
96 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	②数日に1回程度
97 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている。	②少しずつ増えている
98 職員は、生き生きと働いている	①ほぼ全ての職員が
99 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	①ほぼ全ての利用者が
100 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	②家族等の2/3くらいが

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(日々の実践の中で事業所として力を入れて取り組んでいる点・アピールしたい点等を自由記載)